

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社伊藤園	代表取締役社長 執行役員	本庄大介	東京都	製造業	https://www.itoen.co.jp

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年12月24日
-------	-------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	①	物流の改善提案と協力	取引先や物流事業者から荷待ち時間や附帯作業の合理化について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに自らも積極的に提案します。
2	A	③	パレット等の活用	パレット、カゴ台車、折りたたみコンテナ、通い箱等を活用し、荷役時間を短縮します。
3	A	⑦	運転以外の作業部分の分離	物流事業者から運転業務と運転以外の附帯作業の分離について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。
4	A	⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	正パレット、半パレット、段単位での輸送を推進し、荷造り及び積み込み時間を短縮します。
5	A	⑫	混雑時を避けた配送	納品時間の分散を推進し、車両の有効活用を図ります。
6	A	⑬	発注量の平準化	物流業務の負荷軽減のため、月末と月初の発注量の平準化を推進します。
7	A	⑭	船舶や鉄道へのモーダルシフト	長距離輸送について、トラックからフェリー、RO-RO船や鉄道への転換を行います。この際に、運送内容や費用についても必要な見直しを行います。
8	F	①	地区別(ブロック)生産の推進	地産地消率を引き上げ倉庫間輸送の削減を更に推進します。

PR欄	伊藤園では環境に配慮し、物流協力会社と効率的な物流体制を構築し持続可能な物流を目指していきます。
-----	--